



# 四季の変化に 寄り添って



ナadeshikoの花

夏、日差しを避けるように歩いていた住宅街の小道も、風が涼しくなるにつれ表情を変えています。道ばたのクリの実も立派なイガを付け、鮮やかな緑色をしています。

さて、「なでしこジャパン」といえば、福元美穂さんが大活躍した日本女子サッカーチームの愛称です。ワールドカップ優勝に続き、今回のオリンピックでも銀メダルを獲得。私たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。

決勝戦では、夜中にもかかわらず多くの市民が応援に駆けつけ、成川の区民センターは大変な盛り上がりでした。秋の七草のひとつ「ナadeshiko」は、厳しい環境にも強く、紅から淡いピンク色の花を咲かせます。花言葉は「明るい忍耐」だそうです。日本女子サッカーチームは、まさしくその花言葉のとおり、ロンドンで大輪を咲かせてくれました。

オリンピックの感動とともに夏は移ろい、暦は刻々と過ぎていきます。

9月9日は、重陽の節句です。また、「菊の節句」とも言われています。

先人達は、自然や他の命とのつながりを暦の中にするし、二十四節気、五節句のほかに「雑節」という特別な暦日を作りました。節分や八十八夜、彼岸、土用、二百十日がそれぞれにあたります。

季節の移り変わりをより詳しく暦に刻み、農作業や日々の暮らしにメリハリをつけてきました。

二百十日。新暦の9月1日前後に当たるこの日は、台風の特異日とされていて、収穫を抑えた農家の厄日とも言われています。

1年で最も変化に富んだ秋に分け入り、四季の移ろいを見付けたいこのごろです。

指宿市長 豊留 悦男